



学校だより

ごさそう

〒735-0005 安芸郡府中町宮の町五丁目4番28号

TEL 082-282-3181 FAX 082-282-3182

URL <http://fuchuchu.fuchu-town.ed.jp>

令和5年9月1日

第8号

府中町立府中中学校

校長 中坊 京子

学校教育目標：「人間に^{じんかん}学び 志を育てる」

令和5年度第2学期始業式あいさつ

今日から2学期です。夏休みは自由な時間がたくさんありましたが、「自らを由とする」生活ができましたか？各部活動における大会やコンクールの表彰伝達を後ほど行いますが、みなさんの不断の努力が成果をあげています。また、8月6日は、府中町平和記念式での折り鶴奉献や平和メッセージの発信、平和公園での紙芝居上演と、様々な場面で活躍がありました。

さて、8月9日は全校登校日で平和について考える日でした。各グループで決めたテーマで討論を行いました。そもそも「幸せ」とは？「平和」とは？と根源的に掘り下げて考えたり、自分とは違う意見に考えが広がったりしていました。終業式で「平和について考える夏」にしてほしいと話しましたが、この夏の討論をきっかけに、「平和のバトンを受け継ぐ」、「平和の鶴になる」ことの意味を考え続け、日々の実践につなげてください。

平和に関連して、先日の新聞である見出しに目が留まりました。「**助け合える世の中こそ真の平和**」という見出しは、投稿欄の中で心に残ったものを紹介するコーナーでした。内容は、視覚障害の男性に道を尋ねられたのだけど、ご自身は耳が聞こえにくく困った様子でいたら、見ていた方が道案内をかって出てくれたというのです。その行動がとても自然であったことに感激され、投稿された方は、「人と人が**助け合える世の中が真の平和**と言えましょう」と綴っておられます。自然な助け合いから、「真の平和」へと思いを繋げる文面に私はジーンとききました。

また、最近感動したことの一つとして、ハンガリーのブダペストで行われた世界陸上があります。中でも、女子5000メートルで8位入賞を果たした田中希実選手です。今大会に向け、田中選手が課題としてあげたのは「精神面のぐらつきが大きいこと」でした。克服するために、今年6月にはケニアで合宿を行い、マラソン選手と

共に、1000メートルを十何本走るような、ただただ精神面が鍛えられる淡々とこなしていくような練習をしたそうです。そこで学んだのは気持ちのメリハリの付け方、ハードな鍛錬を積む一方で、練習以外では自分の時間を持つ、オンとオフのバランスを取り、気持ちをコントロールすることです。結果、強豪アフリカ勢に食らいつき8位入賞です。レース後のインタビューでは、「去年のオレゴンはずごくむなくて悲しくて、何の悲しみかわからなかったんですけど、ずっと逆にその悲しみが怒りに変わって、この1年間ずっと努力してきて」と、昨年大会からの1年間の歩みを思い返しました。「でも、やっぱり怒りだけじゃなくて、自分自身への許しが必要なんだなって、この大会で初めて気づくことができて。それは、気づかせてくれたのは、いろんな支えがあったからで、本当に私1人じゃここまで来られなかったの、本当に感謝の気持ちでいっぱいです」と。言葉の深さを感じました。悲しさや怒りを努力に変えた。どれほどの努力だったことか。そして自分自身への「許し」に気付かせてくれた感謝の気持ち、彼女自身の言葉の本意は到底理解できないけれど、努力の積み重ねや、思いの深さを考えさせられました。その時思いだしたのが、詩人・坂村真民作『つみかさね』という詩です。紹介します。さあ、今日からの2学期は全校生徒

で創る大きな「節」として文化祭があります。1学期の大運動会に続きみんなで感動を創っていきましょう。府中中三訓をはじめとした日々の取組を、一つ一つ「つみかさね」、相手を想う気持ちを大切にいきましょう。

夏休み中の表彰 (前回紹介できなかったもの)

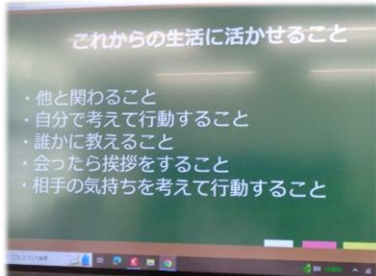
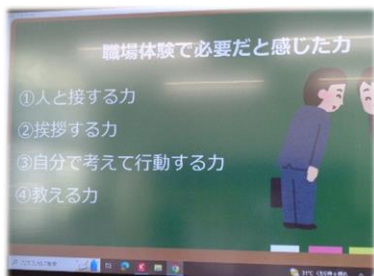
吹奏楽部 広島県吹奏楽コンクール 金賞

8月9日(火) 登校日

「ようこそ先輩」(3年生)、「平和学習」(全学年)を行いました。「ようこそ先輩」では、本校の卒業生(安芸府中高等学校の生徒)を招いて、受験や受験生としての夏休み以降の生活など、各学級で体験談を聞きました。「平和学習」では、8月6日(土)に行われた府中町平和慰霊祭のビデオを見た後、平和大使(本校卒業生)の平和についての思いをまとめた動画、長崎の平和式典のライブ映像を視聴しました。その後学習リーダーを中心に、「全世界の人が幸せになるには何が必要か。」「人類はなぜ戦争をするのか」「どのような状態のことを「平和」というのか。」「核兵器は必要なのか。」など、生徒たちで決定したテーマについて討論を行いました。

生き方サミット2023 in F.J.H.S

8月30日(水)2年生の総合的な学習の時間として、「生き方サミット」を行いました。1学期に行った職場体験学習を通して、生徒たちは、仕事の大切さ、厳しさ、やりがいについて学び、“自分たちの生き方”について考えてきました。30日(水)は、グループごとにまとめた“自分たちの生き方”をお世話になった事業所の方や、あきんどの会の方、保護者・PTAの方、将来教員を目指している大学生など、大人の方に聞いてもらいました。質疑応答・アドバイスをいただく中で、今後、自分たちで“よりよい生き方”が選択できるよう、自分と向き合うきっかけを作ることができたようです。



ある幼稚園で職場体験学習を行ったグループの発表では、大人の方の感想で「幼稚園のあの先生がなぜ幼児たちに好かれるのか、原因や理由をその先生の仕事の様子・言動などから考えることができれば、将来、どんな大人になりたいか(いい模範として)考えられていいですね。」とこれからの“自分たちの生き方”に対してアドバイスをいただきました。

今回の取組みに、ご協力いただいたみなさまに感謝いたします。本当にありがとうございました。